

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【公開番号】特開2003-11922(P2003-11922A)
 【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)
 【出願番号】特願2001-191838(P2001-191838)
 【国際特許分類第7版】

B 6 5 B 51/10
 B 3 1 B 29/64
 B 6 5 B 51/14
 B 6 5 B 51/16
 // B 6 5 B 9/10

【F I】

B 6 5 B 51/10 B
 B 6 5 B 51/10 U
 B 3 1 B 29/64
 B 6 5 B 51/14
 B 6 5 B 51/16
 B 6 5 B 9/10

【手続補正書】
 【提出日】平成15年7月31日(2003.7.31)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項1】

物品(24)が充填された筒状フィルム(25)の移送路を挟んで対向して配設され、該筒状フィルム(25)の移送と共にその移送向きへ移動しつつ対向的に近接・離間移動する一対のシール部材(13,14)により、筒状フィルム(25)内の前記物品(24)を挟む前後にエンドシールを施す横型製袋充填機のエンドシール装置において、

前記筒状フィルム(25)の移送路を挟む位置で姿勢を保ったまま互いに反対向きに回転する一対の支持部材(38,31)の夫々に、作動手段(32,39)を介して対応する前記シール部材(13,14)が該支持部材(38,31)に対して移動可能に配設され、

前記一対のシール部材(13,14)は、前記作動手段(32,39)により共に前記筒状フィルム(25)の移送路に対して近づいた作動状態と、共に該移送路に対して離れた非作動状態とに移行可能とされ、

前記作動手段(32,39)は、前記一対のシール部材(13,14)によるエンドシール前に、前記筒状フィルム(25)内の物品(24)が通過するのを許容した後、両シール部材(13,14)を非作動状態から作動状態に移行させ、エンドシール後に両シール部材(13,14)を非作動状態に移行させるよう設定されている

ことを特徴とする横型製袋充填機のエンドシール装置。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

【課題を解決するための手段】

前記課題を克服し、所期の目的を達成するため本発明は、
物品が充填された筒状フィルムの移送路を挟んで対向して配設され、該筒状フィルムの移送と共にその移送向きへ移動しつつ対向的に近接・離間移動する一対のシール部材により、筒状フィルム内の前記物品を挟む前後にエンドシールを施す横型製袋充填機のエンドシール装置において、

前記筒状フィルムの移送路を挟む位置で姿勢を保ったまま互いに反対向きに回転する一対の支持部材の夫々に、作動手段を介して対応する前記シール部材が該支持部材に対して移動可能に配設され、

前記一対のシール部材は、前記作動手段により共に前記筒状フィルムの移送路に対して近づいた作動状態と、共に該移送路に対して離れた非作動状態とに移行可能とされ、

前記作動手段は、前記一対のシール部材によるエンドシール前に、前記筒状フィルム内の物品が通過するのを許容した後、両シール部材を非作動状態から作動状態に移行させ、エンドシール後に両シール部材を非作動状態に移行させるよう設定されていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0032

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0032】

【発明の効果】

以上に説明した如く、本発明に係る横型製袋充填機のエンドシール装置によれば、支持部材に対してシール部材を、筒状フィルムの移送路に対して近づいた作動状態と、該移送路に対して離れた非作動状態とに移動可能に配設したことにより、高さ寸法の大きな物品であっても、後続する物品の衝突を回避したもとで、包装長を短かくすることができる。また、シール部材のフィルム移送方向に沿う移動ストロークは小さくて済み、振動、騒音が少なくなると共に、装置をコンパクトにし得る。